

ワークショップ4 (A会場)

『楽しかった小学校の英語活動……でも 中学校で文字に出会っても大丈夫だよ！』

竹内 朋恵

(三笠市教育研究所・三笠市立三笠中央中学校)

小学校での英語活動は絵カードを多く使い、歌あり、踊りあり、楽しさ満点の授業が行われています。でも、中学校の授業はどんなかご存知ですか？まさか！教科書訳読中心の文法指導ばかり……な～んてイメージがあったらショックです。今はコミュニケーション活動を多く取り入れた授業はもちろん、小学校英語活動で子どもたちが経験してきた「英語って楽しい」「もっと頑張りたい」という気持ちを大切に中学校での授業は変化してきています。そりゃ～テストや受験もありますから、文法指導もしますがちょっとした工夫で子どもたちの「頑張りたい」気持ちを維持することだってできるんです。中学校入門期(中学1年生)の活動の基本は「頭と心を動かす」ことです。先生と一緒に活動しながら、先生の真似ではなくちょっとした「ひねり」や「そっか～」が大好きです。今回のワークショップでは小学校で英語活動を経験してきた子どもたちの最初の「？」である『文字』を中心とした活動を紹介します。

【活動の紹介】

1. 『アルファベット島めぐり』～はじめてのアルファベット～

ABC……形は見たことはあるけど、大きい形と小さい形があるなんて、よくわからない。初めて出会うアルファベットの大きい文字と小さい文字に中学1年生は初めて「難しい」と感じてしまいがちです。パズル形式で大きい文字を小さい文字を一致させる遊びをやってみましょう。

2. 『私は何歳？』～数字を文字であらわそう～

小学校英語活動のおかげで入学してくる生徒は数字を英語で発音することができます。ではそれを文字で書きましょう。「書く」という作業は単調で、生徒は飽きてしまいがちです。スペルを覚えてもらいたい。1はoneだと覚えてもらいたい。そしたらこんな遊びはどうでしょう？暗号を解読すれば怪人の年齢がわかる！「頭」を使って考えて「わかった！」という喜びが味わえる数字学習です。

3. 『クルーゲーム』～単語や表現を読んで書いてみよう～

私の教えている中学生は1年生から3年生までこの活動が大好きです。生活班(5人程度)で協力して行う「書く・読む」活動です。

既習の単語又は表現を紙に1文ずつ書いて教室のあちこちに貼ります。

班の中で船長(椅子に座り英語を書く係)を1人決めます。

「Go」の合図で船長以外は教室に掲示している単語又は表現を見つけ覚えて船長に伝えます。

船長は暗号シートに船員が教えてくれる英文を書きます。

暗号シートが完成したら先生にチェックしてもらい、解読シートをもらいます。

解読シートに暗号をあてはめていけば……

既習の表現の復習(読む・覚えて相手に伝える・聞き取って書く)という学習にピッタリの楽しい内容です。

【私のひとりごと……】

せっかくの小学校英語活動。子どもたちの学びは中学校への期待と共に続いています。英語活動を小学校だけで完結させるのではなく「もっと頑張りたい！」という気持ちを中学校で大切にして授業を作ること。それが小学校から英語を経験して来る生徒に私がやらなくてはいけないことです。